

# ヨーロッパの基層文化と近代

研究代表者 松 本 彰

## 1. 分担者

松 本 彰 (人文学部)  
高 橋 秀 樹 (人文学部)  
細 田 あや子 (人文学部)  
高 木 裕 (人文学部)  
桑 原 聡 (人文学部)  
逸 見 龍 生 (人文学部)  
井 山 弘 幸 (人文学部)  
山 内 志 郎 (人文学部)  
三 浦 敦 (人文学部)

## 2. 協力者

原 聖 (女子美術大学教授)

## 3. 2006年度の研究活動の概要

2007年度の超域科目「ヨーロッパの基層文化と近代」について検討するため、研究会を開催した。

2007年6月に、新潟で日本西洋史学会を開催することになり、本プロジェクトの主要メンバーがそちらで忙しくなり、プロジェクトとしての活動ができなかった。今後、改善していきたい。

#### 4. 2006年度の研究成果の概要

『欧米の言語・社会・文化』第13号を発行した。

その目次は以下のとおりである。

大石 強：総合的複合語に課せられる条件

大石 強：英語副詞句の階層性

小林一桜：アクエンアテン治世下における神々に対する迫害行為について  
の一考察

高橋 顯：コンスタンティヌス治世下におけるキリスト教異端・分派問題  
—ドナトゥス派およびアリウス派について—